

四国8の字ネットワークのミッシングリンク早期解消

～事業実施環境が整っている区間の早期着手～

政策提言先 国土交通省

政策提言の要旨

四国の自立と発展や南海地震対策として必要不可欠である高規格幹線道路網「四国8の字ネットワーク」の早期実現を図るため、ミッシングリンク（未連結区間）については国が責任を持って確実に連結するとともに、そのために必要な予算を確保し、地元が整備を待ち望み、事業実施環境が整っている区間へ重点投資することが必要です。

【政策提言の具体的内容】

1. 大津波の影響を受けない基幹ネットワーク整備が急務！

そのためミッシングリンク解消に必要な予算を確保し、確実に実行

地震発生時に高規格道路は、人命救助、緊急支援物資の輸送、早期の復旧・復興など、様々な場面で効果を発揮し、特に沿岸部では、津波を止める堤防や緊急避難場所として活用可能であり、有効活用することにより、津波被害の大きな軽減に繋がります。このため「四国8の字ネットワーク」などの高規格道路の早期整備が必要だと考えます。

○四国横断自動車道 窪川佐賀道路 拳ノ川IC～佐賀IC間

○阿南安芸自動車道 安芸道路、東洋北川道路（直轄代行事業）、北川道路（補助事業）

2. 津波浸水区域における緊急輸送路確保のための高規格道路の整備が必要

地震発生後の迅速な救援活動を行うためにも、緊急輸送路が分断される区間の早期整備が必要です。また、将来整備が予定されている2車線部分の用地などを、津波浸水からの緊急避難場所として有効活用すべきだと考えます。

3. 地域の実情を反映した事業評価の実施

○将来交通需要推計においては、ネットワークの想定を事業中の区間に限定することなく、将来計画を見込んだ道路ネットワークで実施

○今後の事業評価においては、既存のB/C（3便益）では評価できない、道路が持つ多様な効果や個別の実情を反映して実施

4. 「選択と集中」により重点投資

国民の命と暮らしを守り、地域経済の強化による地域の自立の支援を図るため、以下のような箇所に予算を重点投資すべきだと考えます。

○地震や豪雨災害などにより地域の孤立が予想されるような、幹線道路網が脆弱で代替道路も無い地域

○高度医療施設等へのアクセスが大幅に向上し、救命率上昇や到達圏域の拡大に繋がる地域

○鉄道など公共交通が脆弱で、自動車に依存せざるを得ない地域

○観光客の増加や大都市圏への販路拡大など、連結の効果が特に高い区間

【政策提言の理由】

◇四国8の字ネットワークは、四国の骨格を形成する高規格幹線道路網ですが、ミッシングリンクが存在し、救急搬送の遅れによる救命率の低下や、南海地震時には津波により道路が寸断され、集落や地域全体が孤立することが懸念されます。地震発生後、迅速かつ円滑な救援活動や物資搬送を行うためにも、高規格道路の整備が必要です。

【高知県担当課】土木部 道路課